

2022年 第38回

しながわ平和のための戦争展

繰り返すまい戦争への道—子どもたちの未来のために

日時：8月12日（金）・13日（土）14日（日）

10:00～16:00 最終日は15時まで

入場無料

会場：品川区民ギャラリー（イトーヨーカドー大井町店8階）

今年も新型コロナウイルス感染は広がってきていますが、感染対策をしっかりとって開催することにしました。

ロシアのウクライナ侵略が長引く中で、平和の大切さを改めて強く感じていることと思います。二度と戦争への道をくりかえさないために、今こそ過去から学び、現実をしっかりと見つめ、一人一人ができることを考え行動することが求められていると思います。このささやかな展示が「子どもたちの未来のために」とも考え合う場になりますように。



しながわ平和のための戦争展実行委員会 2022年8月

1. 戦争はウソからはじまる—日本の中国侵略—

ロシアがウクライナ侵攻を始めた時の演説を聞いて、日本が中国との戦争を始める時の口実とそっくり、と思ったのは一人だけではないでしょう。過去の事実を見つめ直すことは、これから「私たちが戦争をしないために」を考える上でも大切だと思います。日本は中国で何をしてきたのか、パネルを通して見つめ、考えていると思います。

教科書検定制度が変えられる中で、今教科書で何がおきているのか、戦争はどう扱われ、教科書でどう教えられようとしているのかも報告します。

2. 地域から見る 子どもと教育・暮らし・戦争

子どもの暮らし—戦争中の子どもが読んでいた『ももたろう』『さるかに』は今の話とだいぶ違います。「カルタ」は戦争が題材です。軍事費が膨らみ、本はぜいたく品と税金がかけられました。子どもの絵には、どこかに銃や日の丸や軍艦が見えます。戦争の中で暮らす子どもの様子を考えます。

品川の学童疎開・ランドセル地蔵—旧品川地区は現在の多摩地域へ。旧荏原地区は富山、静岡へ。静岡へ行った子どもたちは更に青森へ再疎開しました。安全な地域へ行ったはずなのに機銃掃射や爆撃で亡くなった子もいました。

品川と空襲—城南空襲と小島義一さん—1945年5月24日の空襲は、3月10日を超える大量の焼夷弾を落して品川を焼け野原にしました。中延に住んでいた小島義一さんは、城南大空襲の様子を克明に思い出して絵に描きました。その一部を展示します。貴重な資料をDVDにまとめたものは12日午後上映します。

空襲で孤児になった子どももいました。孤児になった人たちは戦後、国にも見放され、今なお裁判で闘っています。戦争は終戦では終わらないのです。

3. 武器で平和はつukれない—今大切にしたい憲法

岸田政権は参院選の結果、改憲賛成政党（自公、維新、国民民主）が改憲発議に必要な2/3を超す議席を確保したことで、民意が改憲を支持したと述べ、改憲発議を急いでいます。ウクライナの危機に便乗して、日本に今にもロシア・中国・北朝鮮からの侵略があるかのように不安を煽り、軍拡・9条改憲への暴走を始めています。

改めて「9条とは」を問い直し、大軍拡と「自衛隊を9条に書き込む『加憲』で日本は安全になるのか？」を考えませんか。憲法を守り生かすとは、戦後の歴史、またASEANの取り組みに目を向けて、紛争の解決は軍事ではなく対話でという国連憲章と同じ9条の平和外交こそ人々の平和に生きる権利を守ることだと確かめ合いたいですね。

4. 返還50年 琉球弧で進む自衛隊基地建設

8月4日、米国ペロシ下院議長が台湾を訪問し、それに反発した中国が、台湾を包囲する重要軍事演習を行い、与那国島近海にも4発のミサイルが撃ち込まれました。本土復帰50年を迎えた沖縄ですが、返還当時の悲願「本土並みの返還」とは裏腹に、米軍の新基地や、自衛隊の基地が続々と建設されています。これは米軍の対中国軍封じ込め作戦に基づくものですが、これで日本国民を守れるのでしょうか？沖縄の新基地建設の実態を知り再び沖縄を戦場にしないための方策を考えます。

5. 核のない未来へ

21世紀になって本当に戦争が起こるとは。ロシアはウクライナに侵略し戦争を始めました。そして、核兵器使用もありうると世界を脅かしています。

それを受けて日本政府は「非核三原則を見直し」「核共有もあり」「防衛費の増額」などと言い出しています。

しかし、「第1回核禁止条約締約国会議」が開かれ「ウイーン宣言」が採択されました。核のない世界に向かって多くの国の人々が行動しています。日本政府に「核禁止条約批准」を求める声、「核のない世界を」と声を上げ続けた被爆者たち。今、私たちに求められていることを考えます。

6. 平和の願いをアートであらわす

8月は平和を語る上で忘れてはならない終戦の月です。特に今年は、ロシアのウクライナ侵攻によって世界中の空気が軍拡に向かっている中で、再び日本国民を悲惨な戦争に巻き込まれないために行動することが大切かと思えます。

ロシアの蛮行に乘じ、日本政府も「敵基地攻撃論」や「核共有論」を公言し、改憲と軍備費増強を叫び、これまでにない深刻な状況となっています。

私たちは人と自然を愛し、書と絵画、俳句を愛するものとして、絶対に改憲を許さず、未来の子どもたちへ平和な日本を渡せるよう、平和のためのアート作品を展示します。

催し 新型コロナ感染拡大に伴い短時間とし、変更があるかもしれません。

	午前	午後
12日 (金)	10:30~ とびだす大型絵本 「みねおくんの夏—1944年浜川国民学校の学童疎開」(柳瀬峰雄/作) 20分	13:00~ DVD「品川が焼け野原になった」 DVD「戦争はよくない No War!」(11分) 制作鈴木賢士/2022
13日 (土)	10:30~11:00 (人形劇団 みちくさ) 「かみなりぼうやのゴンちゃん ロクちゃん」 (15分) 紙芝居「平和のちかい」長田新/ 編「原爆の子」(岩波書店発行) より 稲庭桂子/脚本、佐藤忠良/絵 童心社「平和かみしばい」(15分)	13:00~ <語り(日本民話の会)> 「ランドセル地蔵」 「十年分のだっこ」 「お魚になった女の子」 13:50~ <朗読(朗読グループ秋桜の会)> 「いたかったね クロマツさん」 「きけわだつみのこえ」 14:20 トーク 前原剛さん(慶応義塾大学2年生) 戦争体験—ウクライナからの報告
14日 (日)	10:30~ 親子で平和を考える本の紹介	13:00~ 「復帰50年今沖縄を考える」 沖縄の唄三線(照屋三線クラブ)

展示内容と催しはHPで公開します。二次元バーコードをクリックしてご覧ください

HP <https://heiwanotameno.net/>

問い合わせは mail@heiwanotameno.net まで

